

第 7 期北九州市障害福祉計画・第 3 期北九州市障害児福祉計画の
目標等の管理シート

担当部局 保健福祉局 障害福祉部

成果目標 (7) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>○令和 8 年度末までの目標値 令和 8 年度末までに、「障害福祉サービス等に係る各種研修」、「障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有」及び「指導監査結果の関係自治体との共有」の実施体制を構築することを目標とする。</p> <p>【目標値の考え方】 障害福祉サービス等の多様化、多数の事業者参入という状況の中、利用者が真に必要なとする障害福祉サービス等の提供を行うため、①福祉事務所職員の障害者総合支援法の具体的内容の理解、②事業所の不適切な事業運営や誤った報酬請求に対する適切な改善指導と厳正な対応に取り組む体制の確保を図ることとする。</p>																													
計画 (P) ↓ 実施 (D)	活動指標 (内容)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> <th>R 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">障害福祉サービス等に係る各種研修の活用</td> <td rowspan="2">福祉事務所職員の研修受講割合</td> <td>見込</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果及び指導監査結果の関係自治体との共有</td> <td rowspan="2">審査・監査結果の共有回数</td> <td>見込</td> <td>2 回</td> <td>2 回</td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2 回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							R 6	R 7	R 8	障害福祉サービス等に係る各種研修の活用	福祉事務所職員の研修受講割合	見込	100%	100%	100%	実績	100%			障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果及び指導監査結果の関係自治体との共有	審査・監査結果の共有回数	見込	2 回	2 回	2 回	実績	2 回		
			R 6	R 7	R 8																										
障害福祉サービス等に係る各種研修の活用	福祉事務所職員の研修受講割合	見込	100%	100%	100%																										
		実績	100%																												
障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果及び指導監査結果の関係自治体との共有	審査・監査結果の共有回数	見込	2 回	2 回	2 回																										
		実績	2 回																												

評価(C) ↓ 改善(A)	R6年度	評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	<p>○障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果及び指導監査結果の関係自治体との共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで結果の共有機会は、コロナ禍を配慮したオンライン形式であったが、当番幹事の本市で集合形式の機会を設けたことにより、個々の担当者との連帯感が増し、定期的な共有機会（年2回）に捉われず、日々の業務において事案が発生した際には、随時担当者間で課題を共有し、意見交換を行うことのハードルを下げることができました。 ・新しい審査ソフトを活用した事業所指導（毎月請求後に実施）が奏功し、助言・指導を必要とする事例（事業所）数が減少しています。
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	特になし
		改善(A) 【今後の取組等】	<p>障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果及び指導監査結果の関係自治体との共有の機会を持続し、引き続き連携体制を維持します。</p> <p>審査ソフトを活用した事業所指導を継続し、一定の成果を得た対象事業については対象（サービス種別）の変更や別角度からのアプローチを検討し、障害福祉サービス全体の質の底上げを図ります。</p> <p>令和5年度より福祉事務所職員等を対象とした集団研修を再開し、研修を通じて職員が制度の具体的内容への理解を深められるように努めました。引き続き、市民へ適切なサービスを提供できるよう、各種研修を実施していきます。</p>
評価(C) ↓ 改善(A)	R7年度	評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	
		改善(A) 【今後の取組等】	
評価(C) ↓ 改善(A)	R8年度	評価(C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	
		改善(A) 【今後の取組等】	